vinetur

シチリアの協同組合、島のワイン産業救済に5,000万ユーロを要請

協同組合団体は、1,900万ユーロの予算削減を受け、危機蒸留、生産者支援、協同組合の資本増強を州予算に盛り込むよう求めている

2026年11月17日（火）



シチリアの主要な協同組合団体は、島のワイン産業を支援するため、次期予算法に少なくとも5,000万ユーロを計上するよう州政府に求めている。ワイナリーやブドウ生産者は、余剰在庫、価格低迷、コスト上昇に直面しており、早急な救済が必要だとしている。

この要請は11月12日、AGCI、Confcooperative、Legacoop、UNCI、UNICOOPが公表した。団体側は、資金を3つの優先施策に充てるべきだと主張している。余剰ワイン在庫を減らすための危機蒸留、EUのデ・ミニミス制度に基づくワイン生産者への直接支援、そして協同組合ワイナリーの資本基盤を強化し、投資や融資へのアクセス改善を可能にする措置だ。

今回の要請は、州予算の修正案からワイン産業向け施策が削除されたことを受けたものだ。10月15日、シチリア州議会のガエターノ・ガルヴァーニョ議長は、レナート・スキファーニ州知事の同意を得て、より緊急性が高いと判断された施策に資金を集中させるため、予算修正案から52条を削除すると発表した。削除された条項には、協同組合ワイナリーの組合員であり、ブドウを供給するワイン事業者に1,900万ユーロを割り当てていた法案1200/Aの第60条も含まれていた。

協同組合団体は、この決定により、多くのワイナリーが財務面で圧迫されている時期に、予定されていた支援策が頓挫したと述べている。今後は、一時的な議論に終わらせず、州の予算に確実な措置として盛り込むよう求めている。AGCI Sicilia会長のミケーレ・カッパドンナは、シチリアの生産経済がこれ以上、遅延に耐え続けることはできないと語った。

団体によると、協同組合はシチリアのワイン生産の約70％を担い、数万人の農家が栽培したブドウの販売先となっている。そのため、協同組合ワイナリーの財務状況は、農家の収入だけでなく、島の広大なワイン産地で生産を継続できるかどうかにも関わる。シチリアワインの大きな割合を扱う協同組合の資金繰り、在庫管理、投資能力は、飲料産業の重要な一部を占めるこの地域の供給状況や商取引の安定にも影響し得る。

団体は数カ月前から、この状況に警鐘を鳴らしてきた。9月17日、州議会の生産活動委員会で開かれた公聴会では、業界関係者が、新たな収穫期が始まった時点でも、多くのワイナリーのタンクが満杯のままだと説明した。また、価格の下落やエネルギー・物流コストの上昇も指摘した。この段階ですでに、在庫を減らす蒸留措置だけでなく、協同組合の資本を増強し、借入能力と投資計画を強化するための、より構造的な介入を求めていた。

5,000万ユーロの要請には、短期的な目標と長期的な目標の両方が盛り込まれている。危機蒸留は、余剰ワインの一部を市場から取り除き、売れ残り在庫による圧力を軽減することを目的とする。直接支援は、ブドウ生産者に早急な支援を届ける狙いがある。協同組合ワイナリーの資本増強は、組合員のブドウを加工・販売する事業者の財務基盤を強化し、近代化やイノベーションへの投資を可能にすることを目指す。

この議論は、誰を対象に、どのような仕組みで支援するかをめぐる政治的な対立にも発展している。Cia Sicilia Occidentaleは、ワイナリー向けの措置に加え、すべてのワイン生産者を対象とする栽培面積に応じた直接支援を求めた。10月30日には、シチリア州議会のForza Italia会派代表ステファノ・ペッレグリーノが、1,900万ユーロの支援策を州予算法に盛り込み、栽培面積に基づく一時金による生産者の所得支援に振り向けるとともに、余剰在庫への対策を講じる案を提案した。

しかし、批判は収まらなかった。11月13日と14日には、民主党のダリオ・サフィーナと五つ星運動のクリスティーナ・チミンニシが、政府案にはワイン産業に特化した措置が欠けていると述べた。これに対しペッレグリーノは、議会審議の過程で生産者への直接支援と余剰対策を含む措置を復活させると説明した。

11月12日の要請を行った団体は、10月に当初議論された案よりも幅広い支援策を求めている。生産者の所得を守ることと協同組合ワイナリーを強化することは、相互に結びついた目標だというのが団体側の立場だ。ワイナリーは、組合員のブドウを加工・販売する主要な経路だからだ。サプライチェーンの一部だけを支援しても、産業の安定には不十分だとみている。

州政府と州議会議員は今、ワイン産業向け支援策を州予算法に再び盛り込むか、また盛り込む場合はどのような形にするかの判断を迫られている。その結論は、州予算の一項目にとどまらない重要性を持つ。シチリアはイタリア有数のワイン生産地であり、協同組合ワイナリーの行方は、生産者への支払いの迅速さ、余剰在庫の処理方法、そして産業が生産や販売への投資を続ける能力を左右する可能性がある。